第37号
令和6年10月

沖縄高専だより

National Institute of Technology, Okinawa College

目　次

1．校長より …… 2-3
2．副校長の紹介 …… 4-5
3．1年担任からの挨拶 …… 6
4．2年担任からの挨拶 …… 7
5．3年担任からの挨拶 …… 8
6．4年・5年担任からの挨拶 …… 9
7．専攻科の紹介 …… 10
8．課外活動・コンテストについて …… 11-12
9．1年生クラス紹介・入学してからの感想 …… 13
10．2年生クラスの様子・活動紹介 …… 14
11．3年生クラスの様子・活動紹介 …… 15
12．学生会より …… 16
13．高専祭実行委員より …… 17
14．寮生会より …… 18
15．航空技術者プログラムの紹介 …… 19
16．観光・地域共生デザインコースの紹介 …… 20
17．キャリア教育センター活動紹介 …… 21
18．卒業生の活躍の様子 …… 22-23
19．後学期行事予定表 …… 24

独立行政法人国立高等専門学校機構
沖縄工業高等専門学校
〒905-2192　沖縄県名護市字辺野古905番地
TEL：0980-55-4003　FAX：0980-55-4012
WEB▶http://www.okinawa-ct.ac.jp

沖縄工業高等専門学校
校長　佐藤（さとう） 貴哉（たかや）

校長の佐藤です。平素より、沖縄高専の教育と研究へのご理解・ご支援を有難うございます。心より感謝申し上げます。

さて、本年８月の沖縄における新型コロナの感染状況は、１医療機関あたりの感染者数の平均値で4.47人と発表され、１年前のピーク時の１/10になりました。ようやく対面でのグループワークや学外での実習、フィールドワーク、海外への渡航など、高専の重要な実践的な教育研究活動と学生にとっては楽しい体験が心置きなく出来る様になってきました。夏休みの今、学生は10月の沖縄高専祭に向けての準備や海外での研究発表や研修会の準備に余念が有りません。

沖縄高専には『創造研究』という本校ならではのユニークな科目が有ります。これは通常の授業とは異なり、教員と１名あるいは少人数の学生グループが、放課後や週末などを利用して行う自主的な研究活動科目（選択科目）として開設されています。１年生から、数年に亘って受講可能です。自ら関心のあるテーマを設定し、学生が主体的に研究を進めることができ、自身の力で専門的な知識や技術を早くから身につけることができる科目です。この科目の教育目標は、『学生各自の問題意識に沿った創造性あふれる課題研究を行うことにより、実践的な技術者として必要な、総合的な学力を身につけること』にあります。創造研究の成果を利用して、様々な学外のコンテストに参加したり、学会で発表したり、多くの学生がその素晴らしい創造的な成果を社会に発信しています（＊1）。沖縄高専が重要視する学生の主体性を育むための実践科目と言えます。最近は１年生の受講者が増えてきています。高学年では、卒業研究の事前準備としてこの科目に取り組む学生が増えてきています（＊2）。R３年に新設された『観光・地域共生デザインコース』を選択受講している学生も積極的に参加しているようです。将来自分のアイデアで新しい技術を開発して起業したいと思っている学生は是非この科目に挑戦してください。

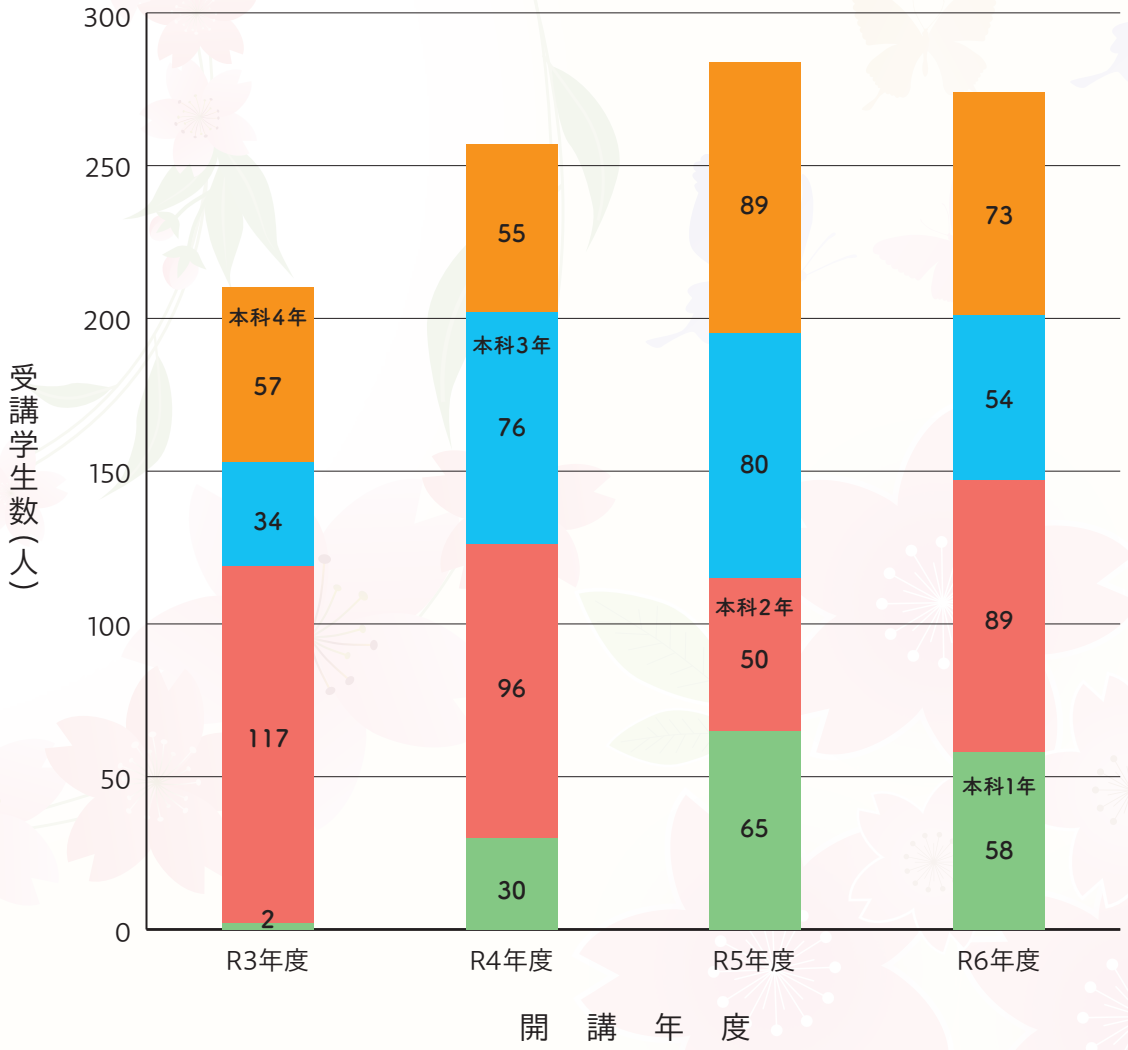
そして、今年から『沖縄高専生の実践的な学びの成果を世界に向けて発信しよう！』という活動も始動しました。沖縄高専では、政府（文科省）の『高専生の海外活動支援事業』と『グローバルエンジニア育成事業』を援用して、沖縄高専の学生が自主的研究や開発の成果を海外で発表するための支援事業をスタートしました。既に64名の学生が、『高専生の海外活動支援事業』を利用して、海外で開かれる技術コンテストや海外研修に参加しました。創造研究の成果を日本でも、海外でも披露できるチャンスが広がっています。

この様に沖縄高専では学生の主体性醸成を基盤とする技術者育成をさらに高度化していきます。保護者の皆様、地域の皆様方のご協力を宜しくお願い致します。

（*1創造研究を基盤としたコンテスト等の受賞状況）

- DCON2024（農林水産大臣賞、NECソリューションイノベータ賞、トヨタ自動車賞）
- WiCON2023（ワイヤレスフューチャー賞、ミライト・ワン賞、ローム賞、さくらインターネット賞）
- 「発酵を科学する 」アイディア・ライブラリー - SEASON.3-（審査員賞（小倉ヒラク賞））
- 高専社会実装教育フォーラム2023（社会実装構想賞、安川電気賞）
- テクノ愛コンテスト2023（高校の部（１位グランプリ）大学の部（１位グランプリ））

*2創造研究の受講学生数推移



副校長の紹介

副校長
（教育改革担当）
眞喜志（まきし） 治（おさむ）

Q確信したこと
やっぱり周りは全員敵

教育改革の冠が付いたせいで、なんでもかんでも教育改革に結びつけて、面倒な仕事を押し付ける輩にうんざりしつつも、やるべきことを客観的に見極めながら足場を固めつつ、今年度前半を過ごしてきました。必要性を感じながらも傍観を決め込んでいる部分もありましたが、思うところあり、教育改革担当の本領を発揮しようかと考えている今日この頃です。まずは、副校長８人も要る？、ってところから始めてみようかと(^_-)-☆

副校長
（教務・入試担当・教務主事）
山田（やまだ） 親稔（ちかとし）

Q好きなアーティスト
ケツメイシ（元気をもらえます！）

後学期がスタートしました。この時期は、次のステップに向けて自分の学びを深め、各学年に応じた目標を明確にし、計画的に進めていくことが大切です。

1～2年生の皆さんへ

後学期は基礎を固める重要な時期です。この時期に学びの土台となる基礎科目をしっかりと理解することが、今後の学びに大きな影響を与えます。基礎を固めることで、次の学年への進級もスムーズになります。

3～5年生の皆さんへ

後学期は専門分野の学びを深めると同時に、進級や卒業に向けた重要な時期です。それぞれの進路に向けた準備をしっかり行い、計画的に学びを進めてください。また、授業や実習を通じて、専門スキルを高めることを意識してください。特に5年生の皆さんは、卒業研究を通じて、これまでの学びを形にしていく時期です。実践的な経験を積むことで、卒業後に役立つ力を養いましょう。

皆さんが後学期にどのように過ごすかが、次の学年、さらには将来のキャリアに大きく影響します。自分自身の目標をしっかりと見据え、一歩一歩着実に歩んでいくことを期待しています。

副校長
（学生・キャリア支援担当・学生主事）
神里（かみさと） 志穂子（しほこ）

Qがんばっていること
朝のあいさつうんどう

今年度も学生主事に手を上げさせて頂き、活発になってきた学生達の活動をサポートしています。　副校長（学生・キャリア支援）を担当させて頂いて、３年目に入りました。昨年度、新入生が心細くならないように「朝のあいさつうんどう」をするようになって、毎日の日課となっています。笑顔で挨拶してくれる学生、友達同士毎日登校して来る学生、ちょっと朝が辛そうな学生など、様々な学生達の様子を見る事ができます。今困っているのは、朝のあいさつうんどうがあるので、出張に行きたくないことです。^^;

副校長
（寮務担当・寮務主事）
安里（あさと） 健太郎（けんたろう）

Q好きな言葉
人の叡智が生み出したものなら人を救ってみせろ

今年度より寮務主事を担当することになりました。これまで、ほとんど学生寮の運営に関わる事がありませんでしたが、実際に主事を務めることになって、約550名の集団生活を維持していくことがいかに大変か痛感しているところです…

開寮式でも話しましたが、安心・安全な学びの環境を調える場としての役割が学生寮にはあります。細かい規則もあり、窮屈に感じることも多々あると思いますが、なぜそのような規則があるのか、疑問に思うことも大事と考えています。寮生一人ひとりが規則の背景にあるものを意識して「学生」として自律できれば、快適な学生寮をつくっていくこともできると思います。期待しています。

副校長
（研究・産学連携担当）
高良（たから） 秀彦（ひでひこ）

Q 最近のマイブーム
道の駅巡り

今年度から副校長（研究・産学連携担当）を担当することになりました高良です。本校における学生と教職員の皆さんの研究活動を支援して、研究を通した教育を推進していきます。また、地域社会・企業様との連携や交流により、地域社会における人材の育成および地域課題の解決支援についても推進していきます。よろしくお願いいたします。

副校長
（国際交流担当）
田中（たなか） 博（ひろし）

Q 好きな言葉
「人」・「本」・「旅」で世界を広げよう！

「人」に会えば自分の知らない世界を知って自分の世界が広がる、「本」を読めばこの世にいない「人」にも出会えて自分の世界が広がる、現実でも夢の中ででも一旦「旅」にでれば新しい世界が無限に広がる。これらをいつ、どの範囲で、どうやるかやらないかは自分次第、他人のマネ真似でもぜんぜん構わない。さあ、今年はこれから誰に会いに行こうかな？どんな本に出合えるかな？どこに行って何を食べようかな？いつでも楽しみです！

副校長
（IT 担当）
與那嶺（よなみね） 尚弘（たかひろ）

Q 最近気になっているもの
運転が注意散漫になっていないか以前より気になっています。

IT担当・情報処理センター長の與那嶺です。情報処理センターでは学生や教職員の大切なデータを守るための施策を推進しています。不審なメールやチャットが届いた経験のある学生もいると思います。不審なメールやチャットには反応しないでください。また、簡単なパスワードやパスワードの使い回しも危険です。情報セキュリティは全員が守るべき重要な課題です。皆さんの心構えが自身や学校全体の安全を支えます。常に最新のセキュリティ対策を心がけてください。

副校長
（総務担当・事務部長）
亀井（かめい） 耕治（こうじ）

Q 最近の懸案事項？
学生時代からの蒐集活動の行く末（できるだけソフトランディングに）

昨年、本校に着任早々、創立20周年という節目に際し、それが一段落したところで、今年度から副校長（総務担当）を拝命しました。この重要なポストに事務職員が就任するのは本校創立以来初とのことで、一層身が引き締まる思いでいっぱいです。事務職員としての視点だけでなく、執行部の一員として、本校の運営に携わることが出来る貴重な経験を得たということで、これまで培ってきた経験を活かし、微力ではありますが、本校の発展の一助になれればと思っております。宜しくお願いいたします。

1年担任からの挨拶

1年1組担任　木村 和雄（きむら かずお）

Q 朝起きて一番にすること
できるだけ遠くのものを見る

1年1組担当の木村和雄です。今は8月27日の夕方、2週間前に学生を夏休みへ送り、先週はあれこれ成績処理やらクラスの学生への所見作成等終え、慣れぬ担任業務も一段落ついたところです。今年の1年1組は頑張り屋さん揃いで、評点の割に席次が上がらない学生が多いことには、嬉しい悲鳴を上げてしまいました。面談等で「席次は気にしないで」と念を押してはみたものの、こちらが戸惑うほどのレベルで、ほとんどの学生が前途洋々たるスタートを切れたのは頼もしい限りです。などと感慨に耽っていたら突然「高専だより」の原稿依頼が来ました。学生にしてみれば夏休みの真っ只中、なんだってまたこんなタイミングで･･･。

この2年余り、沖縄高専はすっかり変わりました。たとえば辺野古を去る教職員がかつてないほど増えています。残された者として寂寥感と圧迫感は否めません。「高専だより」の出遅れも、些細ですが、学校の現状を表す一例でしょう。高専は20年の歴史を清算する転換期と言えそうです。そのなかで自分自身はどうあるべきか?答えは見えていても、なかなか行動が追いつきません。そんな担任と組織の功利主義に向き合う1組の諸君には申し訳ないのですが、今年の1年生なら、担任が頼りないからこそ逞しく成長してくれるものと信じています。

1年2組担任　和多野 大（わたの だい）

Q 追いつき追い越したい目標の人
イチローさん

こんにちは、わた〜にょです。「先生」と呼ばれることを非常に苦手としている私なので、今年もそんなふうに呼んでもらっています。みなさんありがとう。

毎年さまざまな個性を持つ学生が入学してきます。今年の2組は、前期を終えて、人間的な成長の伸びしろを感じます。つまりまだまだこれからってことね、みんなこんなもんじゃないでしょう?　私は学生のみなさんへの接し方は基本緩めですが、そこに甘えきってしまわないように、自分の内面や感性を磨いていってほしいですね。

私自身が甘く、みなさんには頼りない仕事で申し訳なく思います。担任や授業は不本意だった年度のほうが圧倒的に多いので、今年51歳ですが私自身もっと上手くやっていきたい、もっと楽しく過ごしていきたい、成長していきたいと思っています。みなさんと関係のないところで、人として自分を律していくことを、まず心がけています。

一期一会。今をこのとき限りと思って、意味を感じて生きていきたいです。

1年3組担任　片山 鮎子（かたやま あゆこ）

Q 子供の頃の夢
魔女

1年3組担任の片山鮎子です。専門は国語学で、とくに戦国時代の漢文訓読に現れる表現を調査しています。最近は武田信玄の弟の武田信繁が書いた家訓を調査して、武田家が受容していた漢籍の種類と学派の系統を研究しているところです。他にも外国人の日本語教育に役立つデータベースを作る研究の手伝いもしています。

沖縄高専での1年生の科目担当は国語Ⅰです。学生の中には国語が苦手で高専に来たという人もいるそうなので、4年生までみっちり国語ⅠⅡⅢ、文学概論、国語表現を学ぶことに驚いているかと思います。でも科学者や技術者には報告書、レポート、論文を書く技術が欠かせないので少しずつ学んでいきましょう。同時に高校や大学で学ぶ基礎的な文学系の教養も身につけてもらいます。楽しんでやっていけたらと思っているので、授業に関する要望があれば気軽に声を掛けてください。

3組は今年の1年生の中でもとても元気で楽しいクラスです。この調子で後期も楽しく過ごしていきたいと願っています。

1年4組担任　山内 祥之（やまうち よしゆき）

Q 好きな動物
犬

2024年度1年4組担任の山内です。教科は英語で、県立高校で教諭として働いていたこともあります。1年生のECPⅠの授業を担当しています。今年度の1年4組はとても活発で元気があります。また失敗を恐れず、自分たちで動き出す行動力を備えていると感じています。クラスの役員や仕事などを決める際も、楽しみながら意見を出し合ったりしているのがとても印象的です。

学習面については高専のハイレベルな授業や課題に戸惑いながらも、効果的な勉強方法を模索している段階でしょうか。ただ、クラスメートや友人たちと相談しながら、一歩ずつ壁を乗り越えていく協力的な雰囲気を感じています。後期には高専祭もあります。クラスの出し物など、皆で励まし合いながら目標を成し遂げる貴重な経験となるでしょう。今後の人生でも様々な困難に出会うと思いますが、このクラスでの日々の成長がそれを乗り越えるための糧になってくれればと願っています。

2年担任からの挨拶

2年1組担任　島尻（しまじり） 真理子（まりこ）

Q 1日の中で一番好きな時間
お風呂上がりの、ぼーッと過ごし時間

高専に入学して1年と半年が過ぎた1組。旧1年1組が多かったこともあり、そのメンバーが中心となっていた最初の頃と比べると、他の仲間とも、授業や学級活動、休み時間など、多くの時間を共有することで、良い化学反応が起きる回数が少しずつ増えてきたと感じています。

異なる分野（学科）、夢（将来）のベクトルが様々な方向を示している仲間と、同じクラスで語らうことができるこの「異種格闘技」？ともいえる沖縄高専2年1組として過ごす時間も、気がつけば折り返しとなります。

1人ひとりが講義室3－1を中心に過ごす時間を大切にしつつ、目指す夢やこれから出逢う沢山のモノ・コトに向け、笑顔を忘れることなくチャレンジし続ける…そんな皆さんを、残り半年ではありますが、2年1組担任として、微力ながら応援できればと思っています（もちろん、3年生になっても、卒業しても、応援し続けますよ～♪）。

2年2組担任　下郡（しもごおり） 剛（たけし）

Q 好きな食べ物
スイカとトマトに塩をかけて食べること。

こんにちは。2組担任の下郡です。今、8月29日です。超大型台風が今、鹿児島に上陸しています。予想進路を見たら、大分の実家の上を、中心線が通っています。うそでしょ？って思いましたが現実です。親からは「怖い」ってメールが届いてます。

話はかわりますが、これまでクラス担任は数え切れないほどやってます。でも直近の2年間は担任から離れていたので、思い出し思い出ししながら、なんとかかんとかやりくりしている状況です。不思議なほど身につかないんです、もうほんとに。科学研究費の報告、ほぼ毎年書いてるんですけど、今でも、やり方、1年経つとまるっきり忘れてしまってるんです。おんなじだなー、ふしぎだなーと。

今年のクラスの印象は、うーん、例年とはちょっと違うのかなーって感じてます。

なんか、明確には言えないんですけど、印象として、例年よりも、協力的ってイメージがあります。それは教員に対してだけじゃなく、クラスの中ででも。なーんか、決まるのが早いんですよね。この係に何人割り振らないと、とかの時、人数足りないと、じゃあ自分が、って積極的に手をあげてる印象があるんです。SHRへの遅刻とかも少ないし、欠席も少ないよね。そんなこんなが連鎖して、協力的って印象になってるのかもしれません。前期のレクは失敗しましたが、後期はやろうね。楽しいクラスになると良いなと思ってます。

2年3組担任　カーマン マコア

Q 最近、感動したのは？
私は、2年3組の学生たちのリーダーシップと全体的な親しみやすさに感動しています。何かをお願いしても、学生たちはほとんど文句を言わず、チームとして協力し、物事がスムーズに進みます。私自身も不満はなく、このクラスでの時間を楽しんでいます

子供の頃、私はディズニーのアニメ「ダックテイルズ」をよく見ていました。アニメの主人公の父親のアドバイス「より賢く働け」を紹介します。長い間、私はこの言葉に従い、簡単に物事を済ませる方法を追求していました。ビル・ゲイツも「難しい仕事は怠け者に任せる。怠け者は簡単な方法を見つけるからだ」と言っていますが、私も効率的だと思っていました。

大学卒業後、私は迷い、3つのアルバイトを掛け持ちし、友達と遊びながらも何かが足りませんでした。4年ほど無目的に過ごした後、自問自答せざるを得なかった。「私は本当に効率的だったのか、それともただ怠けていただけなのか？私は楽しいが、本当に幸せなのだろうか？」

日本に来てからは、瞬間的な幸福を追い求めるのではなく、仕事や人間関係において満足感を大切にするようになりました。今では、学生に「才能が働かないとき、努力が才能に勝つ」というティム・ノトケの言葉を伝え、過程を大切にすれば結果はついてくると教えています。

皆様、一生懸命、賢く効率的に働きましょう。

2年4組担任　成田（なりた） 誠（まこと）

Q 最近取り組んでいる練習
バックカット-フォア前の前後フットワークとバックハンド強打

線形代数と微積分Ⅰを担当しております成田誠と申します。専門は数理物理学(相対性理論)ですので、数学だけでなく物理学の話なども皆さんに提供できた良いと考えています。

2年4組は大人しく真面目な学生が集まっているかと思います。とは言え、積極性に欠けるなどということはなく、各自が自立して物事に対処していると感じています。その点では、むしろ担任の私がクラスの皆さんに助けてもらっているとも言えるでしょう。何より素晴らしいことは、欠席・欠課が少なく、きちんと授業に受けて勉強していることです。

前期の大きなイベントの1つである体育祭では良い成績を収めました。後期には高専祭がありますが、クラス皆で楽しい企画を実行してくれるでしょう。

来春には全員揃って進級できるよう支えていきます。皆さんも精進し各自の目標を達成してください。

3年担任からの挨拶

機械システム工学科　眞喜志（まきし） 隆（たかし）

Q 人生で一番辛かったこと

博士論文の執筆。当時は心臓の動きが変でした（不整脈）？二度はやりたくありません。

私は今年度で定年を迎えますが、３年次の担任になったのも何かの縁でしょう。前回の３年次の担任はちょうどコロナ禍の一番ひどい時で、学校行事もできず、講義も遠隔での対応になるなど右往左往しました。高専の３年生はちょうど５年間の中間の学年で、以前は中だるみしやすい学年と呼ばれていました。専門科目が増えて勉強も難しくなり、これまでの学習ではついていくのが難しくなります。何のために勉強するのか迷いの出てくる時期です。ここで踏ん張れれば一気に卒業まで進めると思います。いろいろな思いを持って沖縄高専に入学したのだから、もうひと頑張りをお願いします。

また３年生は、今後の進路を決める大事な時期でもあります。これからも講義や面談などを通して、どんな分野に進みたいのか、何をしたいのか、何に興味があるのか、将来何になりたいのか等、自分の行きたい方向をよく考えて、しっかり情報も集めて進路の方向性を決め、それが実現できるように準備を始めてください。

情報通信システム工学科　亀濱（かめはま） 博紀（ひろき）

Q 密かに挑戦していること

お～いお茶の俳句に応募して入賞を狙っている。

情報３年生のクラス担任として、今年度の様子をご紹介いたします。３年生になり、学科別のクラス編成となりました。専門科目も増え、授業の難易度や課題の量も増加しています。クラスメイト同士で協力し、互いに支え合いながら学業に取り組む姿勢が見られ、心強く感じています。また、３年生は進路選択を考え始める重要な時期です。来年度のインターンシップや将来の進路に向けて、学業以外での経験を積むことの重要性を指導しています。

元気いっぱいの学生たちは、授業中に注意を受けることもたびたびありますが、その活気あふれる姿勢は学内イベントへの積極的な参加にも表れています。多くの学生が役員として活躍し、部活動や留学、各種コンテストにも意欲的に取り組んでいます。学業と課外活動のバランスを取りながら成長を続ける３年生たち。彼らの今後の活躍が非常に楽しみなクラスです。

メディア情報工学科　タンスリヤボン スリヨン

Q 好きな動物

なまけもの（Sloth）。あののんびりした感じ、理想の生活スタイルかも。

メディア情報工学科３年の担任を務めて半年が経ちました。この期間、学生一人ひとりと密接な関係を築き、そのニーズを深く理解しながら指導できることに喜びを感じています。

３年生になると専門科目が増え、学習内容も高度になりますが、高校の受験に比べるとプレッシャーは少なく、自分の好きな分野に集中するチャンスです。この時期を活かし、プロコンや各種コンテストに参加してITスキルを磨いたり、情報処理技術者試験の資格取得に挑戦したりすることをお勧めします。

また、高専が推進するグローバル教育の一環として、国際交流プログラムに参加し、海外で新たな経験を積むことや英語力を磨くことも素晴らしい選択肢です。これらの経験は、今後の皆さんの未来に良い影響を与えることでしょう。

後半には高専祭や研修旅行など、大好きなメディア情報工学科３年生と共に多様なイベントに参加できることを楽しみにしています。保護者の皆様には、今後も変わらぬご支援をお願い申し上げます。

生物資源工学科　濱田（はまだ） 泰輔（たいすけ）

Q 大切だと思うこと

健康

担任として生物資源工学科３年のみなさんと接して４か月が経ちました。１年生、２年生の時には化学や物理化学基礎の授業で皆さんと一緒に勉強に励んできました。今年度は、毎朝のショートホームルーム、毎週水曜のロングホームルーム、体育祭、個人面談などで皆さんと接することが多く、大変うれしく思っています。

本科３年生は高専の本科５年間のちょうど中頃です。専門科目の授業が増えるのはもちろんですが、今後、自分の進む方向について具体的に考える時期になってくると思います。さまざまなキャリア関係の行事も増えてきます。それらの行事も参考によく考えていきましょう。

保護者のみなさんも保護者面談に多くの方々のご参加をいただき、これまでのこと、これからのことについてもお話をすることができました。お礼申しあげます。これからもご協力いただきたくお願いいたします。

4年担任からの挨拶

機械システム工学科　津村（つむら） 卓也（たくや）

Q 今までにしたアルバイト

大学時代、C 言語で LIPS4 プリンタドライバや、表計算データ入出力ルーチンを作っていました。

夏休み中にインターンシップ実習を経験し、学生の皆さんは大きく成長されたと推察します。担任も数年ぶりの海外渡航を経験し、大きく成長を遂げた…はずですので、後期も互いに切磋琢磨をしていきましょう。

情報通信システム工学科　山田（やまだ） 親稔（ちかとし）

Q やっていて得ること

人がやらないことをやる

インターンシップお疲れ様でした。それぞれの企業で実際の現場を体験し、多くの学びを得たことと思います。実践的な技術だけでなく、社会人としてのマナーやチームでの協力、問題解決のための柔軟な思考力も養えたのではないでしょうか。後学期は、インターンシップでの経験を活かし、将来の進路をしっかりと見据えて行動していきましょう。

メディア情報工学科　仲間（なかま） 祐貴（ゆうき）

Q 最近のマイブーム

コストコのハイローラーが美味しくてハマってます。

４年生はこれから卒研や進学・就職と高専生活でも重要なイベントが待っています。自分と向き合って考えることが大切だと思います。ただ、時間はみんな等しく１日24時間しかありませんので、時間の使い方は大事にしましょう。

生物資源工学科　伊東（いとう） 昌章（まさあき）

Q 最近の出来事

9月に名護市から宜野座村に引っ越しました

４年生の皆さん、インターンシップはいかがでしたでしょうか？この体験をぜひ進路決定に活かしてください。

5年担任からの挨拶

機械システム工学科　武村（たけむら） 史朗（ふみあき）

Q この年になったら気をつけないとなぁ

親のこと・税金

写真は若いですが、今は白髪増えています。僕は焦ってきました。皆さんはどうですか？期待していますよ！

情報通信システム工学科　宮城（みやぎ） 桂（けい）

Q 普段気をつけていること

定時に帰宅する。土日は出勤しない。

こんにちは。今日は日曜ですが、某Y先生は本日も出勤しています。ソウルメイトの僕としてはとても心配です。早く良い人が見つかりますように。

メディア情報工学科　佐藤（さとう） 尚（たかし）

Q 好きなこと

UMPCと戯れる・RNNやRLの能力限界追究・猫に顔を埋める・冬キャンプ・nana で歌う

ドライバーの皆さん、センサーやカメラに頼らず３つのミラーと更に目視でも必ず確認しよう！自戒を念込めて…

生物資源工学科　田邊（たなべ） 俊朗（としあき）

Q 実家は何屋？

蒲鉾屋、惣菜屋、かき氷屋、うどん屋台、学習塾、縁日で竹輪売り、バナナのたたき売り

色々な仕事がありますが、自分が夢中になれる仕事を見つけるか、作り出せると楽しいのではないかなと思います。

専攻科の紹介

専攻科長　高良（たから） 秀彦（ひでひこ）

Q好きなアーティスト
ビリー・ジョエル

本校の専攻科は、機械工学、電気電子工学、情報工学、生物工学の各分野において深い専門知識を修得し、さらには異なる分野の知識も修得し、融合・複合化の進んでいる産業界において実践性・創造性を兼ね備えた技術者の育成を目指しています。

専攻科１年生の前期では、PBL授業として「創造システム工学実験」を行いました。課題発見から議論、提案、発展、解決のプロセスを学ぶエンジニアリングデザイン教育を実施し、設計、製造、工程管理、予算管理などで実践力を養うことを目的としています。今年度は、地域の課題解決を目指して次のテーマに取り組みました。

・子供食堂への寄付を目的とした、地域資源（ビール酵母と麦芽粕）を活用したパスタ麺の開発
・地元の企業とのつながりを強めるための宣伝活動、および取り組んでいる循環型システムのPR動画作成
・高齢者がスマートフォンで継続的に簡単に使える食事管理アプリケーションの機能とデザインの開発
・沖縄伝統のサバニ文化の周知と継承を目指した、サバニ造船、VRサバニ体験とミニエークの色塗り体験の実施
・特別支援学校の生徒さんが数の概念を楽しみながら学習できる神経衰弱カードの作成

これらの成果は7月27日のオープンキャンパスで展示を行い、神経衰弱カードについては新聞にも掲載されました。10月11日の沖縄高専フォーラムでも紹介する予定です。

２年生は、１年生から取り組んでいる「特別研究」のまとめの時期となります。特別研究においては、課題解決のための研究計画を立案・修正し、自主的に研究を遂行し、これまで学んだ知識を総合し問題解決ができることが求められます。６月に、立案した研究計画書を学位授与機構に申請しました。１月に特別研究発表会および学生授与機構への成果提出が予定されており、学位授与および年度末の最終発表を目指して、教員や同僚と活発に議論をして研究に励んでいます。

昨年度から、高専専攻科と九州大学が連携する「九大工学部・九州沖縄９高専連携教育プログラム」が始まりました。本プログラムでは、履修者は高専専攻科と九州大学の双方に在籍することになります。プログラム所定の課程を修了した者は、高専専攻科から修了証書ならびに九州大学からの卒業証書（学士の学位記）が交付されます。入学後は、１年目の専攻科１年次（大学３年次）は沖縄高専が活動拠点で、２年目の専攻科２年次（大学４年次）は九州大学が活動拠点となります。今年度から沖縄高専の専攻科生もこのプログラムに参加しています。プログラム生は皆さん、両方の学校の講義やインターンシップ等の学びに積極的に取り組んでいます。

本プログラムの詳細については下記ホームページをご覧ください。

九大工学部・九州沖縄９高専連携教育プログラムホームページ

https://renkei.kyu-kosen-ac.jp

課外活動・コンテスト実績

高専だよりをご覧の皆さんこんにちはミヤギ農家です。

今回私達は5月10日・11日に開催されたDCON2024に「AgreenTech -リジェネラティブ農業をデザインする-」というテーマで参加し、結果は4位と振るいませんでしたが、農林水産大臣賞と2つの企業賞を受賞することができました。

私達の取り組みを簡単に説明すると、ドローンとAIを活用して畑の土壌分析を行い、結果に応じてその土壌に対して適切な資材を投入することで良質な土壌環境を形成させるといった内容になっており、ドローンにて畑の各部分の生育状態を取得することで生育や土壌のばらつきに合わせた可変施肥を行え、AI・ドローン・有用微生物を活用したリジェネラティブ農業を実現できます。

今回のDCONに私達ミヤギ農家は情報通信システム工学科・生物資源工学科のメンバーが合同で取り組み、情報科はAIやドローンに関する知識を、生物科は微生物等に関する知識を持ち寄り、お互いに足りない知識を補い協力して取り組みました。

DCONで取り組みを発表するにあたり、実験を行うために自分たちで草木を切り拓いて実験圃場を確保し、独自堆肥の作成なども行いましたが、堆肥作成時のにおいが充満してしまい近隣の方からクレームが来てしまったり、天候に振り回されたりと苦労した点は多くありました。

私達は今後もさらなる研究を続けていき、もちろん次回DCON2025にもチャレンジします。農業の未来のために精進していきますので応援いただけると嬉しいです。

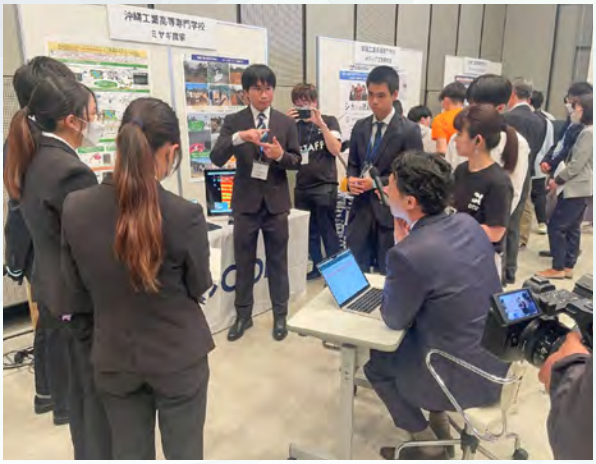
課外活動・コンテスト実績

九州沖縄地区高専体育大会主要実績

種目名	成　績
水泳　男子50m自由形	2位（全国大会4位）
水泳　男子100m背泳ぎ	2位（全国大会出場）
水泳　男子200m背泳ぎ	3位（全国大会出場）
テニス　女子シングルス	2位（全国大会出場）
テニス　女子団体	2位
テニス　男子団体	3位

コンテスト関係主要実績

コンテスト名	成　績
つくば Science Edge2024	未来志向賞 （提案名：IoT と AI 技術を駆使した次世代のリップカレント予測システム）
第5回全国高等専門学校 ディープラーニングコンテスト 2024（DCON2024）	・農林水産大臣賞 ・NEC ソリューションイノベータ賞 ・トヨタ自動車賞 （テーマ名：AgreenTech- リジェネラティブ農業をデザインする - ／チーム名：ミヤギ農家）



コンテスト参加の様子

1年生クラス紹介・入学してからの感想

1組

大石 翔太（おおいし しょうた）

1年1組の前期級長をさせていただいております。大石翔太です。

1年1組は男子32人、女子9人の合計41人のクラスで、担任は地球科学概論の木村和雄先生と、副担任は基礎数学Ⅱの小池寿俊です。このクラスのクラスメイト達はとても仲が良く、昼食を一緒に食べたり、休み時間に集まってゲームをしたり、おしゃべりをしたりしています。そんなクラスですが、まだクラスに完全に溶け込めていないクラスメイトもいます。なので後期の級長さんには自分が前期でできなかった分、後期の高専祭などでクラスの仲をよりいっそうよくしてほしいと思います。

高専に入学してからは、90分という長い授業や、はじめての寮生活など、なれないことが多々ありました。90分という長い授業でも、授業の進みが早く追いつくのも大変です。ですが、わからないところは先生方が丁寧に教えてくれて、わからないところが分かった時の達成感がすごいです。それに高専には、気の合う友達や優しい先輩、先生がたくさんいるので、わからないところを相談すれば優しく丁寧に教えてくれます。寮生活でも、テスト前に友達とラウンジに集まって、勉強したり、一緒にゲームをしたりなど楽しいことがたくさんあります。

後期では高専祭という大きい行事が待っています、1年1組やほかのクラスも楽しいことを企画しているので、是非とも足を運んできてください。そして、これからの私たちの成長を温かい目で見守り、応援してください。

2組

上原 大洋（うえはら たいよう）

私たち1年2組は賑やかで仲のいい楽しいクラスです。わからないことや困ったことがあったときは、すぐにクラスの友達に相談したり聞いたりしています。また、個性がゆたかなクラスでもあります。小さいころからプログラミングをやっていてプログラミングが桁違いにできる人とか、不真面目でやる気がなさそうなのになぜか勉強ができる人とか、仏の皮をかぶった鬼がいたり、さまざまな個性をもったおもしろいクラスです。また、イベントや行事、楽しいことは全力でたのしみにいきます。すこし上がりすぎてうるさくしすぎたり、居眠りがあったりしますが、それでも明るく楽しい最高な学級です。

3組

喜友名 朝舜（きゆな あさと）

1年3組メディア情報工学科の喜友名朝舜です。

私たち1年3組は、多彩なワードセンスを持つ担任の片山鮎子先生と、ユーモアあふれる副担任の藤本教寛先生、いい意味で「濃い」メンバーの1年3組42名の非常ににぎやかなクラスです。

初めのころは、席が近い人同士で集まっている感じでしたが、夏休み前にもなるとクラスの大体の人が全員と話すようになり、今では休み時間にゲームで盛り上がっていたり、誰かの嘆きが聞こえたり、様々な話でとても盛り上がっています。ほかにも、授業でわからないところがあると、全員で教えあったり、気軽に人に聞けたりする雰囲気が生まれてきており、とても過ごしやすいクラスだと思います。

後期は初めての高専祭があるので、高専祭のために全員が一致団結してより楽しいものを作ることで、クラスの仲をより深めることができると思います。

高専は友達から聞く普通高校と大きく違い、90分授業、チャイムなしといった授業関係だけでなく、学生寮があったり、専門的な機械が多くあったりして、設備から大きく違うことが分かりました。授業の進みも早く、一年のうちに数Ⅱまで終わらすという爆速さを見せています。さらに全学科共通となったプログラミングの学習もあり、頭を抱える人は少なからずいます。ですが、教えあいという協力性がとても強く、全員で一緒に学んでいくことで一体感がとても大きくなっていくように感じました。

そんな沖縄高専に入学し学ぶことができて私はとてもうれしく思っており、このモチベーションを生かして後期はクラスを引っ張っていく級長として、死力を尽くし今まで以上に楽しいクラスに盛り上げていこうとおもいます!!

4組

禰覇 頼利（ねは らいと）

1年4組機械システム工学科の禰覇頼利です。

クラスを紹介するにあたって「僕たちのクラスは最高だ」と言っておきたいです。そう思う理由は3つあります。

1つ目は、担任の先生です。担任の山内先生は、カプリコをみんなに買ってきてくれたり、生徒の頼みを聞いてくれたり、センスのあるジョークを言ったりとみんなを楽しませてくれる先生です。

2つ目は、みんなの特徴が面白いことです。水切りを極めすぎている人、おしゃれで装飾品が似あってる人、ものすごい運動神経と面白すぎる感覚の持ち主など、挙げるだけでキリがありません。

3つ目は、みんなが積極的で根が真面目なところです。普段ふざけあっているメンバーでも、話し合いの際には真剣に考えてくれます。一人ひとりがお互いのために考えてくれるので、よい雰囲気で話し合いが進みます。

この3つの理由で、このクラスは最高なんだと思います。みんなのおかげで、勉強も乗り切ることができました。入学時には不安だった高専生活も、今では毎日学校に行くのが楽しみです。正直来年もこのクラスでいいと思っているくらいです。

一人がひとりが輝いてて、みんな笑ってて、「ずっとこのクラスでいたい!」と思えるような1年4組は、宇宙一のクラスだと思います。

2年生クラスの様子・活動紹介

1組

上原 寛士（うえはら ひろと）

2年1組級長の上原寛士だよ　担任は島尻先生で、島尻先生の第一印象は怖いというクラスメイトもいますが、よくお喋りをしてくれたりする、優しい先生です。でもちゃんと怒ってくれます。

1組は 40 人で女子の方が少ないです。悲しいですね。みんな元気で、朝早くてきつい SHR もほぼみんな来るので偉いクラスです。

決め事の時は立候補してくれる人は少ないけれど、誘うとなんだかんだやってくれるのでノリがいいクラスです。たぶん席替えを好きな人が多くて、席替えをすると騒がしくなります。それは先生に怒られそうですけど、雰囲気が良くていいことだと思っています。体育祭では、みんな真剣に走っていてかっこよかったです。しかし、2年の他クラスは賞を受賞していたのに対して、1組だけ何もないのは悲しかったですね。

まだ男女の仲がいいとは言えないのでこれから高専祭の準備などを通して仲良くして欲しいです。みんなで高専祭のクラス杯こそてっぺん取れるように頑張ります。

2年生はもう半分を切ってしまったけれど、みんながこのクラスで良かったと思えるようにしていきたいです！

2組

呉屋 彩葉（ごや いろは）

2年2組生物資源工学科の呉屋彩葉です。

私たち2年2組は学生 41 名、担任である下郡先生と副担任の山本先生で構成されたクラスです。

担任の下郡先生は私たちに過去話や面白い話、ためになる話をたくさんしてくださり、LHR で話し合いをする際にアイデアが行き詰ったときには様々な意見を提案してくれるとても良い先生です。

副担任の山本先生は関西出身ということから、不意に出てくる関西弁が面白く、とてもノリがいい先生です。LHR の時に二人がいた際、担任と副担任は息があっており、まるでコントを見ているかのようにクラス中から笑いが絶えないです。

2年2組はクラス中優しさと笑顔にあふれており、男女協力し合うことが得意なクラスです。四月行った体育祭では競技出場者を決める際に揉めることがなくスムーズに決めることができました。また、学校全体でも上位4位を2年生で占めていましたが、その中でも2位といい結果を残すことができました。

後期からは大イベントの高専祭が待っています。2年2組の良さを全部発揮できるようみんなで協力して頑張りますので、ぜひ高専祭で2年2組に足を運んでみてください。

3組

松山 愉音（まつやま ゆの）

2年3組副級長の松山愉音です。

このクラスになって、早くも半年が過ぎました。最初の頃に比べれば、仲も深まってきているのではないでしょうか。3組に対して感じる印象は「すごくのびのびしている」です。他のクラスをあまり知りませんが、3組のみんなは自分のしたいことにとても素直で、どこか幼さや純粋さが感じられます。他のクラスの子に3組の印象を聞くと、「元気で楽しそう」といった声が多く聞かれました。

まじめな一面もあり、先生に質問をしていたり周りの子たちと話し合っている姿をよく目にします。また、体育祭では驚異的な団結力でなんと総合一位を獲得することができました。

それから少し個人的な話になりますが、私は先月「甘酒プロジェクト」という活動でタイに行き研究発表をしてきました。初めての研究発表を英語で、異国の地タイで行うことが出来てとてもいい経験になったなと思います。学んだことも多く、これからもいろいろなことに挑戦していきたいです。また、お土産として持ち帰ったドリアンのお菓子はみんな微妙なリアクションをしながらも、わいわい楽しんでくれていたので、喜んでもらえたのかなと思います（笑）

学科別クラスになる前の最後の混合クラスが、この3組で本当によかったです。残り少ない時間ですが、みんなで仲良く、のびのびと楽しんでいきたいです。

よかったら、高専祭で3組のブースにもぜひお立ち寄りください。

4組

内田 蒼那（うちだ もあな）

2年4組は、色々なことに一生懸命取り組み、困った人には迷わず手を差し伸べられる、温かいクラスです。

2年4組には、学業、運動、文化活動等、様々な分野に優れた学生が多数在籍しており、そういった面でバランスのとれたクラスであると言えます。

学業やクラス内の事にとどまらず、部活動や学生会執行部、コンテスト等の課外活動に従事している学生も多く、中には既にそれぞれの活動で結果を残した学生もいます。

また、クラスメイト同士の仲もよく、日ごろから男女問わずに交流している場面が見られます。中には、同級生だけでなく先輩後輩などの他学年とも多く関わっている学生もおり、全体的にコミュニケーション能力の高いクラスであると思います。

現在は、沖縄高専の大イベントである高専祭に向けて、それぞれがよりよいものにしようと、準備にとりかかっています。

クラスメイト一人一人が自身のやるべきことをしっかりこなし、周囲に困っている人がいたら助けることができる。2年4組はそんな責任感とやさしさに満ちた素敵なクラスです。

3年生クラスの様子・活動紹介

機械システム工学科

國吉（くにより） 真奈（まな）

皆さんこんにちは。機械システム工学科3年生の國吉真奈です。3年生に進級して、より専門的な授業が増えました。材料力学や材料加工など機械でしか学べない分野はもちろん、情報生も学ぶ電気電子や生物生が学ぶ有機化合物など幅広い分野を学んでいます。レポートも増え、毎日課題に追われています。また、授業だけでなく、課外活動に積極的に参加する生徒も多くなってきました。

今年の3年機械生は、自分の目標が決まっている人が多く、その人達がクラスを引っ張ってくれています。目標は、大学や専攻科に進学したいという学業の目標から航空宇宙業界や自動車業界などに就職したいなど様々です。もちろん、まだ自分の目標ややりたい事が決まっていない人もいます。私も進路に悩んでいる人の一人です。目標が決まっている人達や担任の眞喜志先生などにアドバイスをもらいながら将来何がやりたいかを自分と向き合い、決めていきたいです。

様々な個性を持ち、それぞれの目標に向かって、努力している人が集まった時3年機械生の本当の「力」が出ると思います。後期には、高専祭や研修旅行など様々行事があります。クラスで一致団結して皆の思い出に残るものしたいです。

情報通信システム工学科

真榮城（まえしろ） 寿都（ひさと）

こんにちは、三年情報です。特別な役職についているわけではありませんが、クラスの一員としてご紹介させていただきます。

三年生になると、学科ごとにクラスが分かれ、男子が多くちょっと暑苦しい感じですが、うちのクラスはとても明るくて元気いっぱいです。男ばかりなので、常にパワフルで賑やかですが、みんな仲が良く、毎日楽しく過ごしています。時に騒がしすぎて先生に目をつけられることもあるけど、それも含めてうちのクラスの良いところかなって思っています。

僕はこの夏休み、海外研修に参加しました。自分にとっては大きな挑戦であり、他の高専生や現地の学生との交流を通じて、企業見学や異文化体験をし、多くの刺激を受けました。語学だけでなく、異なる文化や価値観を学ぶ貴重な経験ができたと思います。

今は高専生活の折り返し地点で、将来の進路や目標を考え始める時期でもあります。三年生になってからは専門的な内容に深く踏み込み、課題も増えて忙しくなっていますが、クラスメイトと助け合いながら乗り越えていきたいです。

後期には、高専祭や研修旅行など楽しみなイベントも控えているので、それをモチベーションに健康第一で頑張っていきます。

メディア情報工学科

大城（おおしろ） 拓登（たくと）

こんにちは、3年メディア情報工学科の大城拓登です。(^▽^)/

私たちクラスは個性豊かな仲間たちが集まっています。3年生になると、専門科目の授業が増え、プログラミングやネットワーク通信技術、画像処理などと、さまざまな情報工学に関わるスキルを学んでいます。授業は講義だけでなく、実践的な内容も多くあります。時々、グループワークで行う課題などもありますよ。^-^)v（正直3年メディアはレポートやテストが非常に多いのでしんどいです。）

休み時間には、友人同士でプログラムを見せ合ったり、勉強の進み具合を共有したりしています。テスト期間が近づくと放課後を使い、分からないところを教え合う姿も見られます。

3年生なり、クラスメイト同士での助け合いもより活発になってきました。学生生活をより充実したものにするために、「創造研究」という完全自主制の勉強に挑戦する学生も増えてきています。

私は級長として、クラス全員が楽しく過ごせるようなクラス作りを目指しています。行事の取りまとめはもちろん、学級レクなどを行っていきたいです。

高専生活も残り半分を切りました。悔いの残らないよう、それぞれの目標に向かって進んでいくため、この先の勉学やイベント事なども全力で取り組んでいきたいと思います。

生物資源工学科

大嶺（おおみね） 結葉（ゆうは）

コロナ禍が明けて、人と距離を取らなければならない文化がなくなりつつある今日この頃、生物資源工学科3年は、結構忙しい日常を送っています。

最近のクラスは、9月後半ということもあり、高専祭の話題で持ち切りです。局や委員に所属し、高専祭に向けて忙しそうにしている人をよく見かけます。

自己紹介が遅れました、一端の生物資源工学科の学生である大嶺です。特にこれといった役職はありませんが、クラスに貢献するためにも、クラス紹介をさせて頂きます。

3年生になってからというもの、専門科目が徐々に増え、それに伴い実験や演習も増えています。実験室はいつも賑やかです。とにかく賑やかなんです。きっと仲がよろしいのでしょう。少々騒がしくしてしまうという課題点はありますが、私はこの賑やかなクラスが大好きです。

テスト前になると、いつもの賑やかさが一変し、急に本気モードになるのもこのクラスの特徴です。頭のいい人が多いので、テスト前はよくお世話になっています。引き続き、後期試験もよろしくお願いします。

こんな感じで、メリハリがあるのかないのか分からないクラスですが、テストの平均点は学年内でも高い方らしいので、大丈夫でしょう。引き続き高専 LIFE をみんなで楽しんでいこう！

学生会より

学生会会長
機械システム工学科４年
ヒュー 叙主亜（じょしゅあ）

皆様、こんにちは。

令和６年度学生会会長を務めさせて頂いております、機械システム工学科４年のヒュー叙主亜と申します。

頼りになる副会長２名、そしてチームを支えてくれる 40 名のメンバーと共に、高専を盛り上げるべく、日々奮闘しております。

今年度の目標は「飛躍する学生会」でございます。新型コロナウイルスにより制限された学校生活に活気を与えてくださった備瀬前会長（令和４年度）、そして全国高専のコミュニティを再建してくださった新城前会長（令和５年度）の意志を引き継ぎ、再建する学生会から、更なる発展を遂げ前進する学生会へと転換していくことを目指して活動しております。

学生会の新企画として誕生した夏祭りイベント「美ら星祭」や、過去イベントの改善と規模拡大を図った「先輩後輩親睦会」「Prom ＆予餞会」など、高専を盛り上げるため、あらゆることに挑戦しております。

「美ら星祭」では、規模の縮小や延期が繰り返され、一時中止も危惧されましたが、全国高専との繋がりを生かし、釧路高専学生会にもご協力をいただき、無事成功させることができました。

また、高専同士の横の繋がりにとどまらず、高専を卒業された OB・OG の先輩方とも連携し、「全国高専交流会」や「高専人会」といったイベントにも携わることができました。

学生会を築き上げてきた先輩方の背中を見てきた私でさえ、まだまだ未熟ではございますが、多くの学生、教職員、保護者の皆様に支えられていることを深く認識し、今後も感謝の気持ちを忘れずに、日々精進して参ります。今後とも、沖縄高専学生会、そして今年度の会長をどうぞよろしくお願い申し上げます。

４月	５月	６月	７月	８月	９月
・体育祭 ・部活動紹介 ・鯉のぼり掲揚 ・ソンクラン／ティンジャン祭り（WSB 共同）	・先輩後輩親睦会 ・試験対策講座（総務局）	・新入生歓迎球技大会	・七夕ミニイベント ・オープンキャンパス		・美ら星祭 ・九州高専交流会

１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
・高専祭	・地域清掃 ＆ BBQ ・秋季eスポーツ大会	・Christmas Event	・New Year's Event	・Prom＆予餞会	・全国高専交流会

▲学生会のメンバー

▲美ら星祭

高専祭実行委員より

みなさん、こんにちは！高専祭実行委員長の梅北新菜です。

今年もいよいよ高専祭の季節がやってきました！

今年の高専祭のテーマは「タイムトラベル」。

このテーマには、過去から未来へと続く時間の旅を通して、私たちがどんな可能性を持っているのかを感じてほしいという思いが込められています。

過去を振り返り、未来に想いを馳せる。そんな時間の旅は、私たちにとって自分を見つめ直し、新たな一歩を踏み出す大切な機会です。この高専祭では、学生たちが「タイムトラベル」をテーマに、未来への期待を膨らませるようなクラス企画やイベントをたくさん用意しています。

今年の高専祭でも、各クラスでは個性豊かなクラス企画が皆さんのご来場をお待ちしています。さらに、毎年大人気の早食い大会やミス・ミスターコンテスト、屋台、そして学生によるバンドやダンス、ロボコン体験会など、盛りだくさんの内容でお届けします！

どの企画も学生たちが時間をかけて準備しておりますので、ぜひ見に来てください！

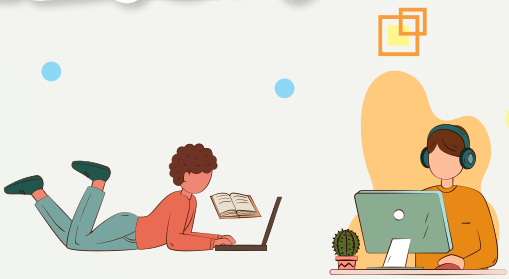
また、今年の高専祭では、皆さんが「今」を存分に楽しんでいただけるよう、時間を忘れて夢中になれるコンセプトが目白押しです。友達や家族と一緒に、時間を超えた冒険を楽しんでください。

「タイムトラベル」がもたらす過去から未来への可能性を感じながら、この特別な日を一緒に過ごしましょう。皆さんのご来場を心よりお待ちしております！

高専祭実行委員長　梅北（うめきた） 新菜（にいな）

寮生会より

男子寮長より



新垣 仁飛（あらかき ひと）　機械システム工学科３年

去年に引き続き今年も男子寮の寮長を務めております、三年機械システム工学科の新垣です。

学生寮の一番の特徴として、「寮生が寮生の面倒を見る」というのがあります。基本的な寮生活の指導については指導寮生、清掃については整美委員、避難訓練は保安委員…というように、役割決めをしてその役割を全うできる点にあると考えています。

各棟寮長・副寮長だけでは男子 400 名、女子 130 名の寮生全員に目を配ることはできません。ですので、役割分担をしっかり行い、その役割を全うしやすい環境を整えていきたいと思います。

女子寮長より

金城 小遥（きんじょう こはる）　メディア情報工学科４年

今年度女子寮長を務めさせていただきます、四年メディア情報工学科の金城小遥です。

寮長を務めるにあたって、学生寮としてあるべき寮と、寮生にとって心地よい寮の二点のバランスをとった寮にしたいと考えています。清掃や寮日程など、守るべき所はしっかり守り、C 棟五階開放をはじめとした、寮生にとって憩いの場作り、寮生が意見を言いやすい雰囲気作り、他寮生と関われるイベント作りをしたいです。

そのためにも、各委員会との連携と積極的な執行委員活動に力を入れていきます。より良い寮を目指すためにも、寮に関わる皆様にご協力いただけますと幸いです。楽しくいきましょう！

航空技術者プログラム紹介

眞喜志（まきし） 治（おさむ）
航空人材育成委員会
委員長・教授

1．10 年目を迎えて

平成 27 年４月にスタートした本プログラムも、今年度で 10 年目に突入しました。この間、毎年度エアライン等に人材を輩出しています。このことは、航空業界における人材不足、という面もあるでしょうが、それ以上に、本校の取り組みが評価されるとともに本プログラム履修生が高い評価を受けているものと受け取ることにしています。

当初、機械システム工学科、情報通信システム工学科、メディア情報工学科に在籍する学生を履修対象としていましたが、現在は生物資源工学科に在籍する学生も含め、すべての学科が履修対象となっています。これは、外部機関からの意見を取り入れたもので、沖縄高専の取り組みや学生は、分野を問わず航空業界には魅力的に映っており、履修生の身につけた能力が認められている証だと捉えることは「独りよがり」なことではない、と思っています。

最近の航空人材に関する動きとして、国土交通省に設置された航空整備士・操縦士の人材確保に関する検討会において、「航空専門学校の入学者数が半減している」、「2030 年訪日外国人 6000 万人の達成を支えるためには約 20% 増の整備士数が必要となる見込み」などが重点課題として挙げられており、また「整備士養成施設における教育の質と効率性の向上」、「デジタル技術を活用した整備の推進」も併せて示されています。このような現状にあっては、本プログラムの取り組みが改めて注目される可能性があると思わずにはいられません。

このような国家レベルの動きを知ってしまった以上は、本プログラムも 10 年目を節目と捉えて、次の 10 年に向けて、高度化する必要があると考えています。引き続き、航空整備士を目指す人材を育成することは当然ながら、航空機整備の現場において、デジタル技術を利活用できる能力、課題解決能力などを醸成する取り組みを付加することを検討したいと考えています。また、航空人材を広く捉え、航空産業界で活躍できる人材育成への拡張も視野に入れた取り組みも検討したいと思っているところです。さらには、以前のように、航空業界を目指す人材確保のための裾野拡大にも、積極的に取り組んでいけるような体制を構築する必要性も感じています。

本プログラムとしては、社会のニーズに敏感に反応し、それらを教育に取り込むことで教育の質を高め、航空業界の期待をはるかに上回る航空人材を育成していくことを強く意識した活動を続けていきたいと考えています。今のところ僕だけのようですが・・・。

観光・地域共生デザインコースの紹介

眞喜志（まきし） 治（おさむ）
観光・地域共生
デザインコース長・教授

1．教育概要等

本コースは２年目を迎え、この時点では、本科２年生50名、本科１年生63名が履修しており、全員が、データの利活用、社会実装を意識した課題解決、文理横断的な学びを楽しんでいると勝手に思っています。タイトルには「観光・地域共生デザインコースの紹介」とありますが、内容については完成度の高いパンフレットに任せるとして、ここでは、背景について主観的に述べてみたいと思います。

振り返ってみると、一般的な準備期間に比べれば、はるかに短い時間で形創ることを求められていたため、かなり高いところからの勝手な期待と要求には応えているように見せかけ、どこを見ているのかわからない協力の申し出には真剣に受け止めているかのように受け流していました。しかし、下請けにはとても厳しい高専機構本部事務局が睨みを利かせていたので、スピード重視で、体制、カリキュラム、外部連携などコースの設計を進めてはいましたが、ポイントをしっかり抑え、多少の拡大解釈を交えながら、令和５年３月31日時点では主要な方々に納得していただける程度には仕上げたつもりです。そんな事情もあり、万全とは言えない状態でのスタートでしたが、あの日から549日が過ぎ、表向きは着々と歩みを進めているように映っているのではないかと思い込んでいます。

どのような背景であろうとも、このコースでの学びに興味を持ち、履修生となった学生の学びへの期待に応える義務と責任があるので、見えないところで着々と必要なことを進め、おそらくは周りにほとんど気づかれることなく、教育内容の充実と体制強化を図るべく、かなり積極的に動いています。そのような動きのなかで、着実に成果を挙げているのは執筆者以外の少数のメンバーであり、各々の持つ様々なアイディアを具体化して、それに共感していただけた外部組織との連携を進めることで、学びの高度化に繋がっているものと考えています。そのような成果を、「それってあなたの感想ですよね？」となっていないことを確認するために、現・本科２年生を対象に、彼らの本科１年生での学び、つまり昨年度について振り返りアンケートを実施した結果の一部が図１と図２になります。図１は、「設問A：１年生での観光・地域共生デザインコースでの学びの充実度に点数を付けてください。(10点満点中)」の回答結果で、図２は、「設問B：観光・地域共生デザインコースで学んで、どんな力が伸びたと考えますか？」の回答結果となります。図１から、平均点は8.3であり、77.5%のコース履修生が８点以上と回答していることから、十分な満足度、学習成果が得られていると判断しました。図２から、伸びた力として「課題発見力・問題解決力」、「思考力」、「コミュニケーションスキル」及び「情報収集・活用・発信力」とする回答が多く、全体として教育目標は達成されているものと判断しました。

現時点で、本コースの学びに賛同する協力機関が増えてきており、学びの幅もより広がっていくことが期待できる状況になっています。学生の期待にもある程度応えることができているようですので、更なる高度化と出口戦略を急ピッチに進めていきたいと考えています。

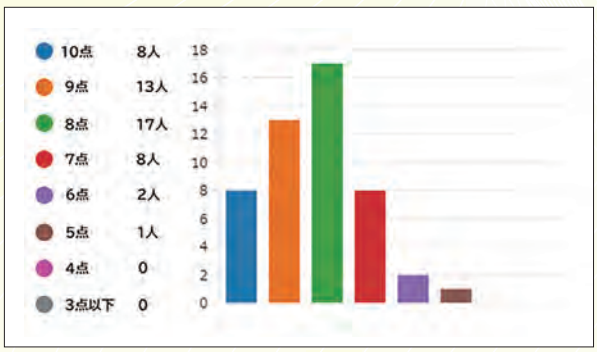


図１　設問Ａの回答結果

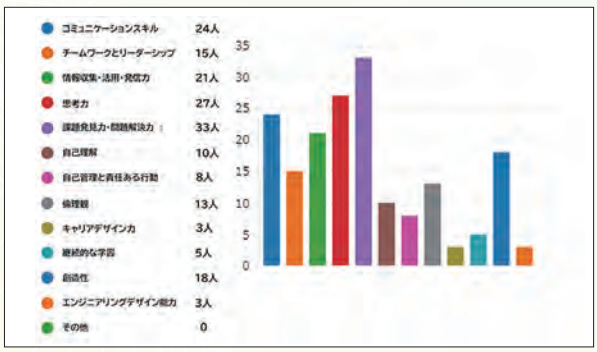


図２　設問Ｂの回答結果

キャリア教育センター活動紹介

亀濱（かめはま） 博紀（ひろき）
キャリア教育センター長

沖縄工業高等専門学校のキャリア教育センターは、学生たちの未来を見据えた体系的なプログラムを展開しています。その目的は、単なる進路決定支援にとどまらず、学生が自己理解を深め、社会や職業への理解を通じて、自らの進路を主体的に決定する力を養うことにあります。

１年生から専攻科２年生まで、段階的にキャリア形成を支援するプログラムが用意されています。１年生では「沖縄高専セミナー」で高専での学びを理解し、２年生以上では「アントレプレナーシップセミナー」を通じて創造性と挑戦心を育みます。

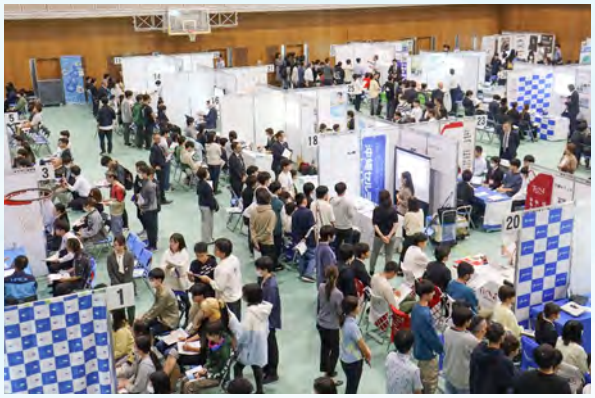
３年生は企業見学を含む研修旅行で実社会に触れ、４年生ではインターンシップを通じて職場体験を得られます。近年の就活スケジュール早期化に対応し、４年生向けに自己分析や履歴書作成、マナー講座、適性検査対策など、実践的なプログラムを提供しています。

５年生では就職・進学に向けた具体的な支援が本格化します。

沖縄高専でのキャリア活動の一大イベントは12月から２月にかけて開催される大規模な業界研究会です。毎年、約180社もの企業が参加予定いただき、学生たちに多様な業界や企業を知る機会を提供しています。この規模の業界研究会は県内でも屈指であり、高専生への期待の高さを表しています。

新たな取り組みとして、卒業生へのUターン支援も予定しており、地域産業の活性化にも貢献します。

このように、沖縄工業高等専門学校のキャリア教育センターは、学生一人ひとりの成長に寄り添いながら、社会の変化に対応した支援を提供することを心がけています。学生たちが自らの適性や興味を見出し、将来の職業人生を主体的に設計する力を育むとともに、沖縄の未来を担う技術者の育成に尽力していきます。



昨年度の業界研究会の様子

卒業生の活躍の様子

當間 誉朗（とうま たかあき） 沖縄高専14期生 機械システム工学科 卒業生

こんにちは、沖縄高専14期機械科卒業生の當間誉朗です。2024年３月に専攻科を卒業し、４月から新社会人として働き始めました。現在は、産業用ロボットを動かすためのソフトウェアの検査作業や、市場で発生した問題の対応を担当しています。就職する前は新しい環境に対して漠然とした不安がありましたが、実際に働き始めると、学生時代と同様に時間があっという間に過ぎて充実した毎日を過ごしています。入社してから半年近く経ちますが、実際の業務にはまだあまり携わっておらず、８割ほどは研修の日々です。それでも業務や研修を通じて学ぶことは多く、わからないことをそのままにせず、メモを取りながら自分で調べたり、先輩に尋ねたりすることの大切さを日々実感しています。学生時代には自分で調べる習慣が身についていなかったかもしれませんが、今ではその重要性を強く感じています。また、高専でのレポート作成などへの計画的な取り組みも、研修や業務において非常に役立っています。高専生活は長いようで、本当にあっという間です。だからこそ、勉強や部活、好きなことに全力で取り組み、学生生活を思い切り楽しんでください。私も早く一人前になって、仕事を任せてもらえるように頑張ります。

山城 佑斗（やましろ ゆうと） 沖縄高専16期生 情報通信システム工学科 卒業生

こんにちは。沖縄高専16期情報通信システム工学科を卒業した山城佑斗です。

私は、沖縄高専を卒業後新潟県長岡市にある長岡技術科学大学（長岡技大）に編入しました。長岡の夏は40℃近い気温になり、冬は日本屈指の豪雪地帯であることから１m以上の雪が積もります。しかし、その盆地を囲む山々から流れる清い水のおかげでお米や日本酒、ラーメンがとても美味しいです。そのおかげで現在の私は勉学とコレステロールの管理に追われる日々です。

編入前は高専とは違った雰囲気である大学に不安もありましたが、長岡技大は同じ高専出身者が多くいるためすぐに馴染むことが出来ました。様々な土地から色々な技術や価値観を持った人が集まるのでとても刺激の多い日々です。

沖縄高専の５年間は美しい辺野古の風景に囲まれながら缶詰状態で勉学に励むという奇妙な学生時代です。憂鬱だなと感じる時もありましたが、その奇妙な経験が今の自分をより輝かせているスパイスになっているなと長岡にきて感じています。沖縄高専で10代の５年間を過ごせたことは皆さんが思っている以上に大きなアドバンテージになります。後輩の皆さんはとても優秀なので、僕よりもそのアドバンテージを上手く活かせると思います。これからの長いようで短い学生生活も頑張ってください!！

亀谷（かめや） 長太（ちょうた） 沖縄高専12期生 メディア情報工学科 卒業生

メディア情報工学科12期生の亀谷長太です。私は2022年３月に専攻科を修了し、電気通信大学大学院に進学しました。現在は修士課程の２年目で、来年度から博士課程に進学します。

大学院では、詩を読んだときに感じる美しさなどの美的効果がどのようにして生じるのか、コンピュータシミュレーションを用いて解明することをテーマに研究を進めています（認知科学という分野の研究です）。専門科目の勉強には目もくれず、芸術や人の美意識についてばかり考えていた自分にとって最高の研究テーマです。

大学院に行って感じたことは、学んだことに無駄なものは無いということです。高専に在学していた時は、エンジニア以外の道に進むということは高専での経験を全て捨てることだと思っていました。しかし、プログラミングなどの技術は、心理実験の環境づくりや実験結果の統計解析など様々な分野で求められます。高専の専門分野にあまり興味が持てない時は、自分の興味があるものと関わりがあるかどうか、視野を広げて考えてみるといいかなと思います。

15歳から20歳（もしくは22歳）にかけて考えていたことや感じていることは、自分の血肉となり指針となると思います。私自身、本科時代の成績はひどいものであまり偉そうなことは言えませんが、在学生の皆さんが、専門性という武器を手にいれつつ高専という枠に囚われないような、充実した学生生活を過ごせることを願っています。

後学期行事予定

高専祭

10月26日(土)～10月27日(日)

研修旅行

(本科3年)
12月3日(火)～12月6日(金)

冬季休講

12月23日(月)～1月5日(日)

終業式

2月14日(金)

(問合せ先)
沖縄工業高等専門学校　総務課総務係
TEL：0980–55-4003　Mail：ssoumu@okinawa-ct.ac.jp